

学校長あいさつ

石垣市立崎枝小中学校は、1951年に「川平小学校崎枝分校」として創立され1961年中学校が併設、1972年本土復帰と共に「石垣市立崎枝小中学校」となった。

校訓、「故郷を愛し、明日を拓く崎枝っ子」の下、「明るく、たくましく」を合い言葉にして小学校67周年（中学校57周年）を迎える。

石垣島西の屋良部半島の付け根に位置し、眼下に名蔵湾と崎枝湾が一望でき、背後には屋良部岳がそびえる環境で、毎日のように訪れるカンムリワシやハト、そして子育てに勤しむツバメにアカショウビンなどのさえずりなど大自然の中で小中学生13名が楽しく学んでいる。

今年度も、自然環境を活かした教育活動は勿論のこと、少人数であることをメリットとして捉え、一人一人のニーズに応える極めの細かい取り組みを教職員と保護者、そして地域と共に推進できるように努めてまいります。

また、家庭での学習時間や読書量などの増加を図り、同時に、教員の授業力向上を目指して、教員の授業研究、授業公開を積極的に推進します。

さらに、これまでの数々の栄光の軌跡を残した先輩達の伝統を礎にして、より充実した新しい教育を創造し、小中併置校の良さを活かした児童生徒の交流、教員相互の交流にも力を注ぎ、「明日を担う崎枝っ子」の意欲的なチャレンジを期待しつつ日々の教育活動に取り組んでいく決意です。

2020年

石垣市立崎枝小中学校 校長 嘉良 寧